社会資本総合整備計画（市街地整備）

計画の名称	10　市民生活の住みやすさ、暮らしやすさの向上計画		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	寒河江市

計画の目標

寒河江市は商店街の衰退が進むなど、中心地の魅力が失われていく状況にありますが、駅前土地区画整理事業の完了や、新たな安心して暮らせる住宅地を提供する木の下土地区画整理事業の展開、県街路事業に伴う街並み形成による活性化の動き、フローラSAGAEの市運営による商業活動の維持の他、様々な地元活動が行なわれており、平成21年度には街なか連携協議会が結成され、平成２２年度に市民と行政が一体となって取り組む仕組みができました。活動の継続とさらなるネットワーク化はもちろんのこと、今ある施設を活用しながら安全・安心性の向上やうるおいとやすらぎ、商店街のにぎやかさの創出、身近なニーズへの対応、そしてさらなる利用促進を図るためのリニューアル事業などが求められます。
また、中心地だけでなく、市全体の住みやすさ、暮らしやすさの向上が必要であり、地域性を踏まえた展開と中心地との連携強化が求められます。
市街地などの安全・安心性の向上やうるおいとやすらぎ、にぎやかさの創出を図り、市民生活の住みやすさ、暮らしやすさの向上を目指します。

計画の成果目標（定量的指標）

・耐震化した建物の収容避難所収容人員のDID人口割合を5%の増加とする
・住民満足度のうるおい・やすらぎ度を5%の向上とする
・中心市街地の空き店舗数を19軒（H22）から19軒（H27）と増加抑制する

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H23当初）	中間目標値（H25末）	最終目標値（H27末）	備考
耐震化した建物の収容避難所収容人員のDID人口割合で算出する。	8%		13%	住民満足度の当初現況値は、「寒河江市第５次振興計画」の中間見直しにあたり平成２２年６月に実施した市民アンケート調査結果の数値を採用した。
アンケート調査による住民満足度の割合で算出する。 住民満足度はうるおい・やすらぎ度について行う。	46%		51%	
中心市街地における空き店舗数を調査する。	19軒		19軒	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	2,323百万円	Ａ	1,990百万円	Ｂ	百万円	Ｃ	333百万円	効果促進事業費の割合（Ａ（提案分）＋Ｃ）／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	19.7%

交付対象事業

Ａ1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
10-A1	都市再生	一般	寒河江市	直接	寒河江市	寒河江市寒河江中央地区都市再生整備計画事業	耐震改修、公園整備など、約3,600ha	寒河江市						646	別添１
10-A2	都市防	一般	寒河江市	直接	寒河江市	寒河江市寒河江地区都市防災総合推進事業	地区公共施設等整備約492ha	寒河江市						1,344	別添２
											合計			1,990	

Ｂ　関連社会資本整備事業

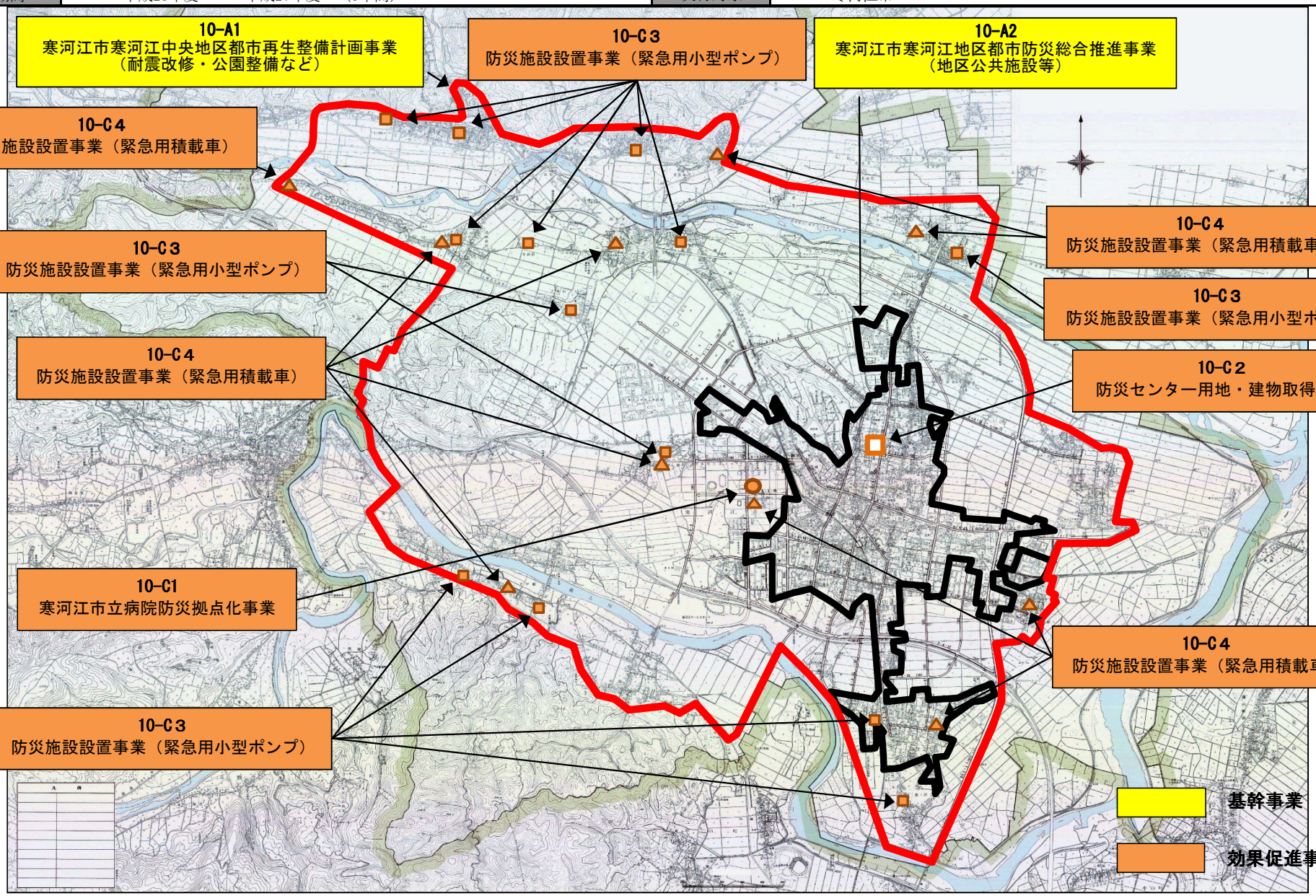
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
											合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

Ｃ　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
10-C1	改修整備	一般	寒河江市	直接	寒河江市	寒河江市立病院防災医療拠点化事業	寒河江市立病院の耐震改修事業など	寒河江市						250	
10-C2	改修整備	一般	寒河江市	直接	寒河江市	防災センター用地・建物取得事業	防災センター用地・建物取得	寒河江市						40	
10-C3	防災施設	一般	寒河江市	直接	寒河江市	防災施設設置事業	緊急用小型ポンプの配備13基	寒河江市						19	
10-C4	防災施設	一般	寒河江市	直接	寒河江市	防災施設設置事業	緊急用積載車の配備軽9台、普通1台	寒河江市						24	
											合計			333	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
10-C1	都市防災総合推進事業の耐震改修などと一体的に防災時での医療拠点を整備することでさらなる安全・安心性の向上を図る。	
10-C2	空き店舗を取得し防災センターとして利活用することで市街地の安全・安心の向上を図る。	
10-C3	緊急用小型ポンプを市街地縁辺部などで配備することで市街地全体の防災機能の向上を図る。	
10-C4	緊急用積載車を市街地縁辺部などで配備することで市街地全体の防災機能の向上を図る。	

（参考図面）市街地整備

計画の名称	10　市民生活の住みやすさ、暮らしやすさの向上計画		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	寒河江市